

# うだちから

「うだちから」とは、宇陀に由来からある地域コミュニティの力(宇陀力)のこです。このコーナーでは、市が取り組む「まちづくり」や NPO 団体などを紹介します。  
 問 まちづくり支援課 ☎82・3910/IP ☎88・9094

## 1 地域の1500人が「夏まつり」を楽しむ!

東榛原まち協

8月3日、榛原天満台の大和富士ホール前で「東榛原夏まつり」を開催しました。

各自治会からは、焼きそば、鮎・やまめの塩焼き、焼鳥、みたらし団子、あてもの、ヨーヨー釣り、輪投げなど、大人から子どもまで楽しめる店が10店舗以上出店しました。美味しい食べ物や味わいながら、和太鼓演奏やキッズダンス、歌謡ショーなどを大勢の方たちが楽しんでいました。



▲ヨーヨー釣りで楽しむ子どもたち

また、お楽しみ抽選会も好評でした。暗くなつてからは、太鼓の音に合わせて恒例の盆踊りも始まり、大人に交じって浴衣姿で踊りを楽しんでいる子どもたちの姿も多く見られました。思い出に残る故郷の夏まつりになったようです。



▲大人も子どもも浴衣を着て

## 2 三本松ふれあい夏まつり

三本松まち協

8月11日、三本松集会所において地域の親睦と活性化を目的として夏まつりを行いました。

会場中央に櫓を組み、その周辺にはかき氷、たこ焼き、お好み焼など飲食店や金魚すくい、スーパードールすくい、あてものなどのお店が並びました。

里帰りした子どもたちや高齢者の参加に配慮して、会場へのシャトルバスの運行も行いました。

はじめに夏のひとときを盛り上げ楽しんでもらうと、集まった人全員でビンゴゲームをしました。

また地域内にある日本語学校の生徒さんも民族衣装を着て、ミャンマーの踊りや日本で覚えた歌を披露してくれました。ミャンマーでは子どもから高齢者まで幅広い年代の人が集



▲ミャンマーの踊り

まる催しは無いので、日本での楽しい経験となったそうです。会場では、元気に走り回る子どもたちや夜店のにぎわい、室生音頭などに合わせて浴衣姿で踊る人、久しぶりに再会し語り合う人たちであふれ、みんなで夏の夜を楽しみました。最後には、打ち上げられた花火が夜空いっぱい光の花を描き、祭りの終わりを告げました。



▲夜空を彩る打ち上げ花火

## 3 まちづくり活動応援補助金成果報告会

8月27日、市役所大会議室にて、平成30年度宇陀市まちづくり活動応援補助金成果報告会を行いました。

昨年度に採択された7団体は、1年間の各々の取り組みについて、宇陀市への熱い思いを伝えました。多くの方に参加していただき喜んでくれたことや、今後事業を継続していくための課題などについて発表し

## 4 うだ子ども能楽教室が始まりました!

うだ子ども能楽教室 (市まちづくり活動応援補助金採択団体)

審査委員からは、活動に対しての労いや地域貢献への感謝の声が多かったです。また、今回は奈良県立大学の学生も含めた意見交換会も行い、有意義な成果報告会となりました。

7団体の成果報告書は、まちづくり支援窓口か、ホームページにも掲載しています。ぜひご覧ください。

9月11日、大宇陀小学校多目的教室において、子ども能楽教室が始まりました。参加者は、市内在住の小中学生と中学生の10人です。能楽教室では、「老松」という謡を能のせりふに曲節を付けて謡います。が、みんな飲み込みが早く、大きな声で謡うと緊張もほぐれ、次は扇子を持って歩きました。能楽師 浦田先生は、「みんな真剣に目がキラキラと輝き楽しく参加してくれたので、これからが楽しみです」とおっしゃっていました。毎月2回稽古をし、来年6月の「あきの蛸能」で披露する予定です。まだまだ、生徒募集中です。見学でも良いので一度見に来てください!



## まち協などの催し予定 10月 (9月17日現在)

日	曜日	イベント案内	主催
5	土	うたの魅力発見体験ツアー「農業体験」	菟田野まち協
6	日	第6回子ども料理教室	榛原地区まち協
12	土	歌って笑ってつなぐ輪 Part 3	内牧地域まち協
13	日	ふれあい体育大会	本郷まち協
		ふれあい運動会	三本松まち協
19	土	美化運動	菟田野まち協
		健康ウォーク	多田地区まち協
27	日	神社祭活性化活動	本郷まち協
		室生ダム湖クリーンウォークと秋の収穫祭	東榛原まち協
		うたの手づくりフェスタ	うたの夢街道実行委員会
		実りいっぱい!うたの夢朝市	菟田野まち協
		向測フェスティバル	向測地区まち協
		伊勢本街道ウォーキング	田口地区まち協



クルミは胡桃仁(ことうにん)といって、918年頃に書かれた本、草和名に最初に記載された生薬です。果実の中の種を採って乾燥したものが胡桃仁で、滋養強壮、鎮咳(ちんがい)、駆虫剤となり、打撲傷にも良く、動脈硬化の予防にもなります。生の果実の汁(外果皮の絞り汁・青い皮肉汁)を飲むと下痢止めになり、塗布するとタムシ、水虫、シロナマズなどに効き、わきがをも消してくれます。日本古来の品種はオニグルミですが、クルミの歴史は古く、世界では紀元前7000年頃より食べられています。その中心はペル

## クルミ

シヤグルミです。原産地は西アジアで、地中海を渡ってヨーロッパに伝わり、この名が付けられたと言われています。これが中国、朝鮮、そして日本に伝わりました。クルミの実は、豊富なビタミン類とリノール酸を含み、多量に含まれているリノール酸はコレステロール値を下げる作用が期待でき、さらに、体内でビタミンAに変わるカロチンや、代謝に欠かせないビタミンB1、B2、老化を抑制するビタミンEなどをバランスよく含みます。ただ、脂質が多いので、食べ過ぎるとエネルギーオーバーになります。



▲種は動脈硬化の予防になり、生の果実の汁は下痢止めにも効くオニグルミ  
 ※当市で「薬草活用講演会」をしていたいた村上光太郎先生の連載より一部抜粋

問 産業企画課 ☎82・5874 / IP ☎88・9075